

■ 1番星と2番星を見つけよう！

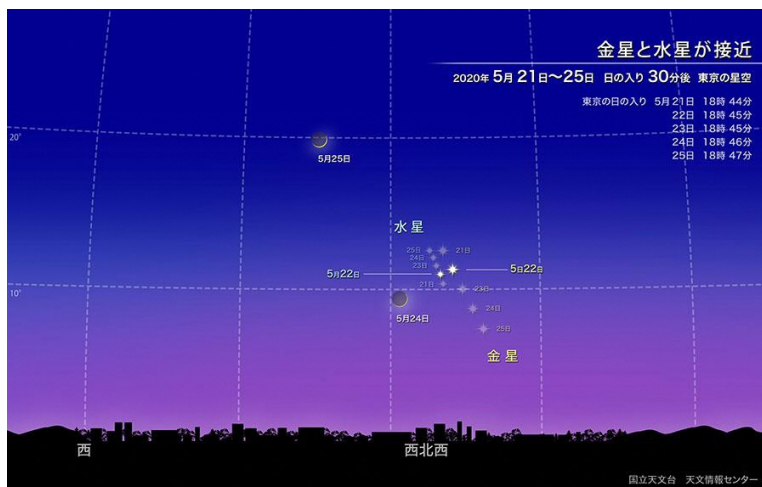
～3年理科 単元4 地球と宇宙～

～ 夕方の空に金星と水星が大接近 ～

NHK2020 応援ソング「パブリカ」に「♪ 見つけたのはいちばん星 明日も晴れるかな～」という歌詞がありますが、夕暮れの空で最初に見つける星はたいてい、夕方の西の空に輝く「金星」の場合が多いです。1つ見つけると、だんだんと暗さが深まり、2つ目3つ目と見つけることができます。

金星は、「明けの明星（あけのみょうじょう）」「宵の明星（よいのみょうじょう）」とも呼ばれ、時期により朝方の東の空か、夕方の西の空にしか現れない惑星です。すごく明るく輝く、変わり者です。

惑星を英語では「Planet(プラネット）」と呼びますが、これは「さまよう者」という意味だそうです。星座の間をうろろと位置を変える星だからですね。「惑」という漢字も「まど-う」という意味で、やはり星座の間をうろろとしている様子から名づけられたようです。しかし、一見ウロウロしているようですがちゃんと規則性があり、古代の天文学者も分かっていました。すごいですね。



もう一つ、金星と同じような動きをする

惑星に水星があります。こちらはいつも、なかなか見つけることができません。ところが令和2年5月22日（金）は、見つける絶好のチャンスです。この日、水星と金星が大接近をします。金星はマイナス4等級なので、夕方の西の空で一番明るく輝くのですぐに見つかります。水星はそこまで明るくありませんが、金星の左側に目を凝らすと見つけることができます。

日没後、すぐに地平線に沈んでしまいますので、午後7時過ぎくらいが条件としては良いですね。西の空が見える開けた場所や高い所から観測できれば、ベストですね。

金星や水星が、朝方や夕方にしか観測できないのは、なんで？でしょうか。
水星はなぜ見つけることが難しいのでしょうか？

■関連する動画やHP、授業《3年理科 単元4地球と宇宙》

①NHK ACTIVE10 「金星の見え方」

https://www.nhk.or.jp/rika/active10/?das_id=D0005110481_00000

②国立天文台「ほしぞら情報」はこちらをクリック！

5月6月の天文情報が掲載されています。

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/>

※「パブリカ」の動画はこちら

<https://www.uta-net.com/movie/254123/>

①



②



③

